8月 しいの実 たんぽぽ みず おたより

2023.8.28　えんまちまぶねりんぽえん

まだまだ暑さは残っていますが、元気いっぱいに鳴り響いていたセミの鳴き声も聞こえなくなり、少しずつ秋に向かっています。子どもたちは暑い中でもプールや水あそびなどで心も身体も開放して心地良さを感じて楽しんでいます。9月も残暑が残っていますが、熱中症等に気をつけてのびのびと過ごしていきたいと思っています。

※8/14～8/16は家庭保育へのご協力ありがとうございました。

しいの実ぐみ

感触遊びを楽しんでいます！

水遊びに慣れてきた子どもたち。保育者がベランダで水遊びの用意をしていると、大きい月齢の子どもたちは「はじまる～」とはかりに寄ってきて側でじっと見て「ん！」と指差しし、入りたいと伝えてくれるようになりました。小さい月齢の子どもたちも朝寝から目を覚ますと先に入っている大きい月齢の子どもたちの楽しそうな声に気付き、自分からベランダの方へと寄っていき窓の縁に身体を上げて、手をぐっと伸ばしてシートの上の水を触ろうと遊ぶ気満々です。少し慣れてきたところで色々な感触遊びも楽しんでいます。まずは寒天です。寒天遊びでは、ひんやりプルプルの寒天を手で触ってみたのですが、最初はとっても不思議そうな表情でそーっと手を伸ばして触ると手についたりポロポロと落ちたり「なんだこれ？！」状態でした。対してマロニーでの感触遊びでは雰囲気や屋上にも慣れ、みんな積極的で、目の前にあるマロニーをわし掴みしていました。大きい月齢の子どもたちは1本掴んで、ぷらーんとさせてじっと見たり、器に入れたりして遊んでいました。小さい月齢の子どもたちは、掴んだり、ポイッとしたり感触を楽しんでいました。成長と共に色々なことに興味が広がって、どんどん積極的になっています。これからも季節の遊びや感触遊びなど様々な遊びを楽しみたいです。

8月から新しいお友だちが入園されました！

新入園児にとって初めての保育園であり初めての同年代の子どもとの触れ合いで、在園児の子どもたちにとってもドキドキの新しいお友だちです。お互いに意識し合いながらも距離感はあり最初は「気になるけど近寄れない…」といった様子でした。日に日にその距離は縮まって行き、新入園児が「まってー」と在園児の大きい月齢の子どもたちの後ろを着いて行き、それを小さい月齢の子どもたちがじっと見る。また、小さい月齢の子どもたちがずり這いで近寄って行き、新入園児がそっと頭を触る。とそれぞれの関わり合いが少しずつ始まっています。新入園児と在園児という子どもたち同士の初めての関わり合いに、成長を感じています。

たんぽぽぐみ

夏のあそび

8月は引き続きプールあそびと、泡あそびやマロニーあそび、色水や氷、ボディペインティングなど色々な感触あそびを楽しみました。

プールあそびでは、7月はプールの端を手で持ったまま遊んでいた子どもが多かったのですが、くり返しの中で、どんどん水に慣れて自由にプールの中を歩き回ったり、ワニ泳ぎやアヒル歩きで移動を楽しむようになった子どもたちです。リズムが大好きなのでプールの中でも保育者がリズムの歌を口ずさむと、うさぎになってぴょんぴょんジャンプをしたりトンボになって走って楽しんでいます。顔にかかってもへっちゃらな子どもも多く、保育者が持っているホースから出る水シャワーに自分たちでかかりに来て、とびっきりの笑顔も見せてくれました。

感触あそびでは、さまざまな感触や色、冷たさなど五感を使って楽しみました。中には感触あそびが少し苦手に感じる子どももいますが、くり返しの経験で前やった時は触れなかったのに、触れるようになった子どももいます。

感触あそびが大好きで全身を使ってダイナミックに楽しむ子どももいます。子ども一人ひとりがそれぞれのペースでじっくりと遊べました。中でも、かぜ組のお兄さんお姉さんと一緒に活動したボディペインティングがとても印象的でした。絵の具をつけた筆で身体にお絵描きをします。自分の身体にぬりぬりと色をつけて"みてみて～"と保育者に笑顔いっぱいで見せに来てくれたり、お友だちの背中に描いてみたり、長い時間集中して遊ぶ姿がありました。かぜ組のダイナミックさに刺激を受けて真似をして描こうとしていました。今年度のプールは終わりとなりましたが来年度のプールあそびも楽しみです。

生き物との出会い

たんぽぽ組では、保護者の方がアゲハ蝶の幼虫を持ってきて下さったことをきっかけにアゲハ蝶の飼育を始めました。園にあるレモンの木の葉っぱをエサとして入れるのですが、レモンの葉っぱを取るごとに新たなアゲハ蝶の卵や幼虫がついていて、合計4匹のアゲハ蝶を飼育しました。

黒くて小さい幼虫から→緑の青虫となり→さなぎになって→アゲハ蝶になる。

という成長課程を子どもたちが見る、よい経験となりました。子どもたちにとても興味津々で毎日のように飼育ケースを覗いて見ていました。みんなで見れるようにと下に降ろすと、たくさんの子どもが周りに集まって場所の取り合いになることも…。触ってみたくて手を伸ばす子どももいましたが、「ちょうちょさん、しんどくなっちゃうから見るだけね」と伝えると、みんな約束事を守って見ていました。見る度に「うわぁ～る」「いた!!」ときらきらとした表情の子どもたち。アゲハ蝶になると「ちょうちょ！」と大興奮でした。蝶になるとその日の内にみんなで外へ逃がしてあげました。「ちょうちょさんバイバイしたら」と伝えると他の遊びもすぐに止めて移動する子どもたち。飛んでいくアゲハ蝶に「バイバーイ!!」と何度も伝える姿がとても可愛らしかったです。たんぽぽ組では何度かセミ捕りに行き、セミとも触れ合いました。少しずつですが、生き物の成長や命の大切さをこれからも子どもたちに伝えていきたいと思っています。

みずぐみ

ごっこあそび大好き

おままごとが大好きなみずぐみの子どもたちは、自分が生活で経験したことを再現したり、お母さんなど身近な大人になったつもりで、ごっこ遊びを楽しみます。おもちゃの台所道具や食器、母親や保育士の真似をして装うためのエプロン、スカートや人形用の洋服や布団など大好きで部屋中に広げてあちこちでお母さんのようにエプロンをつけてお人形を布団に寝かせてトントンしています。

また、みんなで輪になって手を組み、「きょうは○○がおやすみです！あーめん!!」とお祈りをしている姿もあります。毎日どこかの時間で見るお祈りがしっかりと子どもたちに定着していて、この園ならではの姿に嬉しくなります。また、自分なりのイメージをもって物を扱うみたて遊びを楽しむ時期でもあります。何にでもみたてることができるチェーンリングやフェルトでお弁当やお料理など、色や大きさで食材になったりケーキのローソクになったりと楽しんでいます。これからも室内での遊びを充実させ、イメージを膨らませてお友だちと楽しい時間を共有できるようにしていきたいです。

大好きプール

7月から始まったプールも8月に入るとダイナミックに遊べるようになってきました。最初は水しぶきが顔にかかって涙が出てしまう子どももいましたが、それもなくなり、「せんせーみててや!!」と顔つけにチャレンジしようとする子どもが増えてきました。ワニ泳ぎで保育者の足のトンネルをくぐったり、ブクーンと足をあげて♪ワニがーおよぐー♪とうたいながらプール内をぐるぐるまわったりしています。みんなでワニになってお買い物に行こうー！と保育者がお店屋さんになり、「りんごくださーい」と買いに行くごっこ遊びなども楽しんでいます。最終週には数人ずつ幼児用のプールに入り、広々と楽しむ時間も作りました。来年度はいよいよ大きなプールに入るんだ！と期待を持ってもらえたかな…と思います。みずぐみで思いきり楽しめた経験を糧に、かぜぐみでのプールもダイナミックに楽しんでほしいです!!